



No.21-015  
2021年 3月 24日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13  
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

## 在日米軍駐留経費の日本側負担 「思いやり予算」特別協定は延長でなく廃止を 日米2プラス2で増額の可能性

日米2プラス2会談  
3月16日



トランプ前政権は、在日米軍駐留経費負担（思いやり予算）の支出根拠となる現行特別協定の4倍に当たる年間約8500億円の法外な増額を要求していました。日米両政府は2月24日、ほぼ5年おきに見直されてきた現行の特別協定が3月末で期限となった「思いやり予算」を来年3月末まで延長することに合意し、改定議定書に署名していました。

日米安全保障協議委員会（2プラス2）が3月

16日に行われ、米国が尖閣諸島への「安保適用」に言及したことの見返りに「思いやり予算」が増額される可能性が出てきています。

「思いやり予算」の支出根拠となる特別協定を1年延長する承認案が3月19日、衆院外務委員会で自民、公明、維新、立民などの賛成多数で可決。反対は日本共産党でした。同協定による駐留経費負担は日米地位協定上、日本が負担する義務の全くないものです。1978年から「思いやり予算」として基地従業員の福利費や施設整備費の負担に踏み切り、87年の特別協定締結で負担範囲を拡大し、開始以来の総額は8兆円近くになっています。

コロナ禍で多くの国民が困窮しているときに「思いやり予算」を続けることは、容認できるものではなく廃止すべきです。

沖縄県東村高江の米軍北部訓練場メインゲート付近の県道70号で、3月7日の昼頃、米兵約20人が徒歩で移動していることを確認されたと、沖縄タイムスが報じています。米兵は停車した車両から降り、銃を持って訓練場内に入りました。

住民が頻繁に利用する県道を、銃を持って歩くことは、住民に不安を与え許せません。



辺野古の署名に応じる通行人  
23日、東京・新宿駅西口



安保破棄中央実行委員会で宣伝署名行動を行って土砂を使う計画などを7団体から11人が参加しました。各弁士は、2021年度安保破棄中央実行委員会の林竜二郎事務局長の司会で、東森英男こと、コロナ禍で医療が困窮している状況、都内での米軍ヘリによる低空飛行の危険な実態などを訴えました。宣伝には赤嶺政賢衆院議員も参加し国会報告と通行人がビラを受け取り署名に応じ、辺野古新基地建設の埋め立て工事中止、地位協定抜本改定を合わせ22人が集まりました。

会・東京実行委員会は3月23日、東京・新宿駅西口

で宣伝署名行動を行って土砂を使う計画などを7団体から11人が参加しました。各弁士は、2021年度安保破棄中央実行委員会の林竜二郎事務局長の司会で、東森英男こと、コロナ禍で医療が困窮している状況、都内での米軍ヘリによる低空飛行の危険な実態などを訴えました。宣伝には赤嶺政賢衆院議員も参加し国会報告と通行人がビラを受け取り署名に応じ、辺野古新基地建設の埋め立て工事中止、地位協定抜本改定を合わせ22人が集まりました。

安保宣伝  
新宿駅  
西口

米国言いなりの軍拡を止めよ  
遺骨混じる土砂を辺野古に使うな

馬毛島の環境影響評価方法書への意見書の送付を  
締め切りは4月1日（木）です。ファクス、メール、郵送  
の場合、当日消印有効。